

機能要求

1 柵の仕様（別紙1も参照）

総延長 （3箇所合計）	1, 560m （下地がアスファルト等の場所： 111m 下地が土等の場所： 1, 449m）
門扉設置箇所数	50箇所（延長200m）

2 設置の方法

（1）発注者の指定する箇所について、イノシシ等が入り込まないように柵で隙間なく囲いこむこと。柵囲いの対象となる土地は、イノシシの誘因物（農作物、食料、ゴミなど）が存在する農地と宅地である。柵は敷地境界線に沿って、敷地内側に設置する。

（2）柵としては、原則ワイヤーメッシュ柵を使用する。





(3) ワイヤーマッシュ柵の横棒が柵の内側になるよう配置する。



(4) ワイヤーマッシュ柵は、1 mおきもしくは角部に立てた金属支柱1本につき最低3カ所で結束線により固定し補強する。

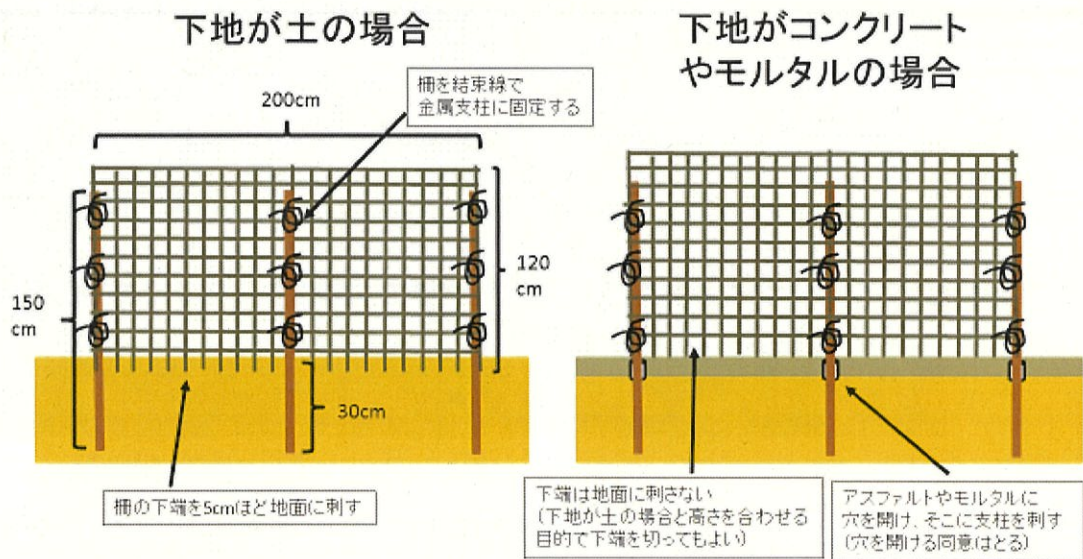


- (5) 一直線上に柵を設置する場合、各ワイヤーメッシュ柵同士の両端が10cm程度重なるように設置する。



- (6) 下地がアスファルトやモルタルでおおわれている場合は、穴を開けてそこに支柱を刺す。

施工方法



※樹脂ネット柵も、基本的には同様の方法で設置する。

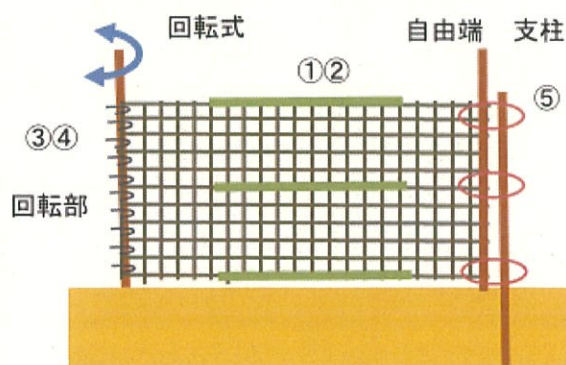
- (7) ワイヤーメッシュ柵は、必要に応じ切断、折り曲げ加工し、設置することができる。



- (8) 宅地を柵で囲う場合、車が通ることのできる門扉を設置する。別紙1に指定される箇所について、出入口としての門扉を設置すること。門扉は原則ワイヤーメッシュ柵を加工することにより作成する。門扉は、たとえば片開きまたは観音開きとする。
- (9) 門扉には夜間視認性を高めるため、反射部材を設置する。
- (10) 複数のワイヤーメッシュ柵を繋いで門扉を作成する場合は、樹脂支柱を横張りすることにより、柵を結合補強する。
- (11) 設置した門扉には、カラビナなどの固定具を装着する。



門扉(WM柵)の作成方法



【必要な加工】

- ①門扉の幅に合わせたWM柵の加工
(2m以上の場合)柵の結合部に補強具(樹脂ポール)を取り付ける
- ③門扉の両端に金属棒を取り付ける
- ④回転軸を作るため、柵との接続部をU字に折り曲げる
- ⑤門扉の自由端と支柱をカラビナで固定する。

(12) 段差等によりワイヤーメッシュ柵による柵や門扉の設置が困難な個所については、樹脂ネット柵を設置する



3. 防獣柵材料の規格等（別添「承認図」参照）

品目	仕様	数量
ワイヤーメッシュ柵	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の内容を標準とするワイヤーメッシュ柵 ①径 5mm、幅 2.2m、高さ 1.3m。 ②マス目は高さ 10cm から始まり、下段は縦 8cm 横 15cm を 8 段、中段は縦 15cm 横 15cm を 3 段、上段は縦 8cm 横 15cm を 1 段とすること。ただし、柵左右端についての横幅は各 10cm とすること。 ③ 鉄鋼製で亜鉛メッキ等の防錆がされていること。 ④ 大人 1 人で持ち運べる程度の重さであること。 	860 枚
金属支柱	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の内容を標準とする鉄鋼製の棒 ① D13、長さ 1.5m。 ② 地面に差し込みやすいよう先端にエンピツ削り等加工がされていること。 	1,721 本
アンカーピン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9mm×400mm を標準とする鋼鉄製のフック 	2,520 本
結束線	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス #16 を標準とする針金。 	45 kg
反射部材	<ul style="list-style-type: none"> ・車のライトなどが当たることにより光を反射し、夜間視認性を高める効果を持つもの。 ・反射板の形態は、テープやシートなど、任意のものを用いる。 	100 箇所程度 (門扉数×2)
樹脂支柱	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の内容を標準とするプラスチック製の棒 ・長さ 1.5m。 	必要に応じて
樹脂ネット柵	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の内容を標準とするプラスチック製の柵 ・目合い 16mm、幅 1.5m ・イノシシの侵入を防ぐ防獣柵として十分な強度を有する。 	必要に応じて

